

令和7年度第1回町民討議会 結果報告書

令和 7 年 8 月 19 日

阿見町町民討議会実行委員会

令和7年度第1回町民討議会の結果概要について（報告）

日時・場所

令和7年7月26日（土）午後1時30分～午後4時30分

阿見町役場3階 301会議室

出席者

① 無作為抽出 2,000人（オンラインのみで申込受付）

↓

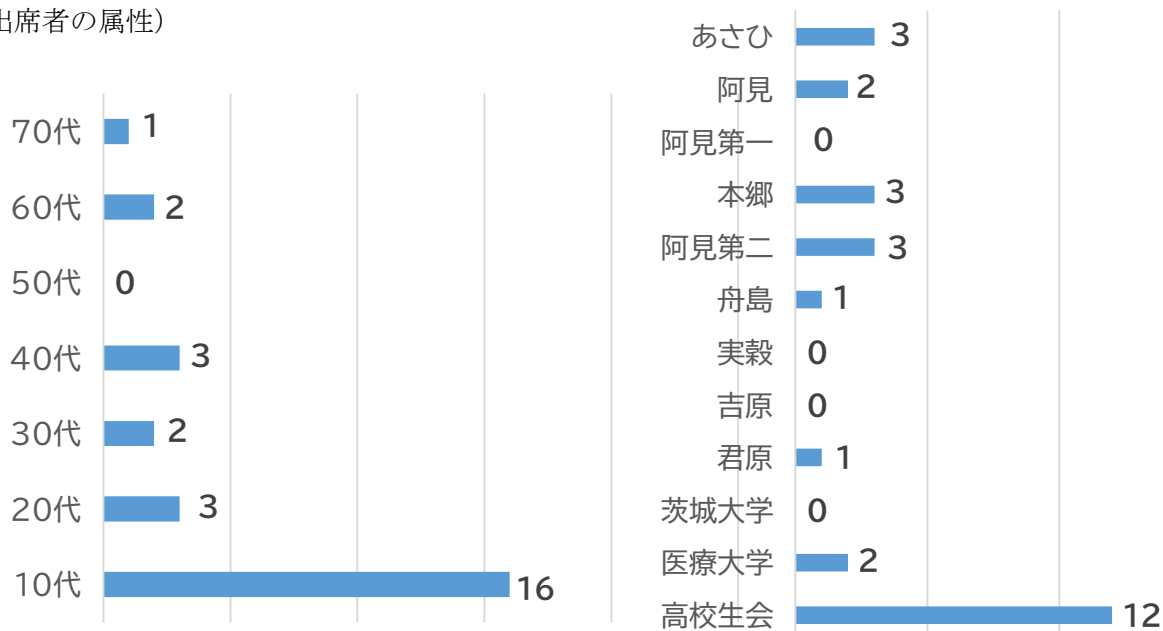
② 申込者 32人

↓

③ 当日の出席 27人（男性9人、女性18人。うち医療大学2人、高校生会12人）

※ 無作為抽出の参加率 $27人 \div 2,000人 = 1.4\%$ （前回0.7%）

（出席者の属性）



※ そのほか、実行委員7人

（いずれも過去の参加者または実行委員。）

STEP①【なぜ本を読むの？読まないの？】で挙げられた主な意見

（概ね共通した意見）

読む理由

- ・ 語彙力・知識を得るため（1・2・3・4班）
- ・ 調べものをするため（1・3・4班）
- ・ 気持ちが落ち着くから（1・2・3・5班）
- ・ 考える力を養うため（1・2・3班）
- ・ ドラマ・映画の原作を読みたくなったから（1・2・3班）

読まない理由

- ・ 時間が無いから（全班）
- ・ 文字を読むのがニガテ、抵抗感を感じる（1・2・5班）
- ・ 本以外の娯楽があるから（1・2・3・4班）
- ・ 読書に対する興味が無いから（1・3・4班）
- ・ 身近に本が無いから（1・2・3班）

（項目毎の特徴的な意見）

読む理由

○ 知識・学び・自己成長

- ・ 語彙力や表現力が向上するから
- ・ 読解力がつく、考える力を養うため
- ・ 知識が深まり、自分の興味や関心を深掘りできるから
- ・ 新しい知識を得る、知識を増やすため
- ・ 視野が広がるから（他者の考え方や視点を学ぶ）
- ・ 学びを通して人間として豊かになるから

○ リラックス・心の安定

- ・ 気持ちが落ち着くから
- ・ ストレスが軽減されるから
- ・ 安心感やリラックスのため
- ・ 眠れない夜のお供になるから
- ・ デジタルデトックス、スマホから離れたくなる時があるから

○ 想像力・創造性・没入感

- ・ 想像力を膨らませる、創造的な思考ができるから
- ・ 本の世界に没入するから 読書⇔旅（過去にも未来にも行ける・昔の人と出会える感覚）
- ・ 日常を面白くするため、小説の登場人物と現実を重ねて過ごす
- ・ 空想力を養うトレーニング、考えが深まるから
- ・ 本でしか体験できない没入感があるから

○ 娯楽・楽しみ・共感

- ・ 面白いから、好きだから
- ・ 本屋に行くのが楽しいから
- ・ ストーリーが面白い、エンタメとして楽しむため
- ・ 登場人物や作者と共感するから
- ・ 好きな作家やテーマで読む、推し作家がいるから

○目的・習慣・実用性

- ・ 進路や学業、学校の課題を終わらせるため
- ・ 定期購読をしていて義務感があるから
- ・ 調べ物や情報収集のため
- ・ 生活の一部として読書、空いた時間に読めるから
- ・ 待ち時間や暇潰しのため

○偶然の発見・インスピレーション

- ・ 偶然、本を開いたら自分の悩みや関心にリンクする内容があったから
- ・ 表紙や題名、一行に強く惹かれることがあるから
- ・ SNS や友人からの勧めで読むため
- ・ 映画やドラマの原作に興味を湧くから

○社会的要素・人間関係

- ・ 本を通じて他者と感想を共有、読書を通じて人間関係が広がるから
- ・ 本を読んでいることがかっこいい、雰囲気になりたいから
- ・ 本が趣味、共通の話題になるから
- ・ 家族や周りの影響で自然に読書する環境があるから

読まない理由

○時間的・環境的な制約

- ・ 時間が無い、忙しくて読書の時間が取れないから
- ・ 本を読むにはまとまった時間が必要、時間を確保するのが難しいから
- ・ 本を読む時間が無い、読書には長い時間がかかるから
- ・ 本を選ぶ時間や買う時間が無いから
- ・ 本を読むための時間的余裕が無いから
- ・ 身近に本が無い、近くに図書館や本屋が無いから

○読書に対する抵抗・苦手意識

- ・ 文字を読むのが苦手だから（ディスレクシアや視覚的な問題）
- ・ 活字を読むのが疲れる、長文に抵抗があるから
- ・ 読書が面倒だと感じるから
- ・ 本を読むのが億劫、読書に対する苦手意識があるから
- ・ 文章を読むのが難しい、難しい言葉が多すぎるから
- ・ 長文や文字が並んでいると読む気が失せるから
- ・ 本を読むことにプレッシャーを感じるから

○代替の娯楽・他の楽しみ

- ・ ゲームや動画、SNS など、他の娯楽の方が楽しい/魅力的だから
- ・ 映像や動画の方が短時間でストーリーが理解できるから
- ・ 本よりも映像やゲームなど、視覚や聴覚で楽しむコンテンツの方が面白いから
- ・ 読書以外の娯楽が多く、そちらを優先したいから

○読書の習慣・モチベーション

- ・ 読書を始めるきっかけが無い、読む理由がわからないから
- ・ 読書が好きだというポジティブなイメージを持ってないから
- ・ 読書のメリットを実感できないから
- ・ 読書を重く考えすぎてしまうから（1冊で何かを得ようとするプレッシャー）
- ・ 本を読むことに対する積極的な動機づけがないから

○選書・興味の欠如

- ・ 読みたい本が無い、読む本を選ぶのが難しいから
- ・ どの本を読めばよいかわからない、読むべき本が見つからないから
- ・ 自分に合う本がわからないから
- ・ 面白い本を見つけられない、興味が持てないから

○物理的な制約

- ・ 本が重い、持ち歩くのが面倒だから
- ・ 紙の本はかさばる、荷物になるから
- ・ 本は高い、買っても読まないかもしれないから
- ・ 本を読むにはスペースが必要だから

○文化的・社会的要因

- ・ 活字離れ、スマホなどの短文情報に慣れているから
- ・ 親や周囲の人が読書をしていない、家庭に本が無いから
- ・ 読書は知識人の趣味、ポジティブに捉えられないから
- ・ 読書が「勉強」や「義務」のように感じるから
- ・ 読書をすることで、「ガリ勉」や「堅苦しい」イメージを持たれるから

STEP②【本を読みたくするためのアイデア】で挙げられた主な意見と STEP③【班のまとめ】

1 班 班名：孫悟班（高校生、10代、30代の班）

- ・ 施設の増加（図書館を増やす、阿見町にもコーチャンフォーみたいな本屋をアウトレットのあたりにつくる）
- ・ 希望者に定期的な本の郵送、回覧版と一緒にサクッと読める本を回す

- ・阿見町読書アプリをつくる（感想・ネタバレ・詳細な検索可・プレゼント企画キャンペーン・ポイントがつく・無料で読める短編とかを掲載・無料サブスク）
- ・ジャンルに沿ったキャンペーンなどをする
- 例）読む時間ない人用、ファンタジー本好きにおすすめ
- ・短い話の本を増やす
- ・たくさんの人の紹介が載ったチラシを配布する
- ・本を読む時間を作る
- ・目的に応じて、分かりやすく、見やすく細かく本を並べる
- ・ブックカバーの製作教室

➡ 班のまとめ 「○書店や図書館の増加
○阿見町の図書館アプリを作る」

2班 班名：本を愛する者たち（高校生会、医療大学、20代、30代の班）

- ・駅前・カスミに回収ボックスを置く
- ・図書館に少しうるさくしても良い日をつくる（子どもが騒ぐことを心配して訪れられない人もいると思うから）
- ・古本市を開催し、いらない本を持ち寄る
- ・感想掲示板をつくる
- ・待ち時間が発生する場所（役場の受付前や病院）に本を置く
- ・誕生日に図書館からおすすめの本が届く※事前に登録した人に図書カードとおすすめの本を送る（アンケートに答えてもらうなどもありかも）
- ・重い本の隣に同じ本の文庫本を並べる
- ・本の修理を大人に教えるイベントをやる
- ・物忘れ対策として（大人向け）
- ・友達や家族に悩み事を相談されたときに本を渡す（解決の糸口）、本カウンセラー制度をつくる
- ・電車の車内広告にショートショートや短歌を書く

➡ 班のまとめ 「○本を読みたいと思えるきっかけ作り…感想掲示板の作成
○図書館…図書館で騒いでも OK な日を作ってみる、青空図書館など
○運営面…回収 BOX の設置(バス停、カスミ、駅前など)、古本市
本を身近に感じられるような町にしよう！！」

3班 班名：もっと本読み隊 ～we love 読書～（高校生会、医療大学、40代、60代の班）

- ・本の選び方を図書館などに貼る
- ・本の処方箋をつくる
- ・移動図書館を実施する
- ・移動式図書館を実施する
- ・親向けの読み聞かせ講座を開催する

- ・ 学校で本を読まないといけない宿題を出す
- ・ 本の選び方の指導をする
- ・ 読書通帳でポイントがたまると本を読みたくなる商品がもらえる
- ・ ビブリオバトルを開催する
- ・ 町の図書カードのステップアップ（読書通帳とリンク）する
- ・ 図書館に映えスペースをつくって写真を撮れるようにする

➡ 班のまとめ「○「何を読めばいいのか分からない」に対して解決策を提示する。

（例：司書さんからおすすめ、本の処方箋、ビブリオバトル等）

○本を読む環境づくりを整える。

（親向け読み聞かせ講座、移動図書館など）」

4班 班名：クローバー（高校生会、10代、40代、60代の班）

- ・ 学校みたいに10分間のチャレンジをする
- ・ 移動図書館があるとよい
- ・ 子どもには、10冊読んだらごほうびをあげる
- ・ 気に入る本とマッチングするチャート表を作る
- ・ SNSでおすすめの本を紹介する（手に取るハードルを下げる）
- ・ 読書初心者におすすめな本を集めたコーナーを作る
- ・ 読書の楽しみ方ガイドを作る
- ・ 本を読むメリットを楽しく・面白く紹介する（子どもだったら憧れの人が紹介するとか）
- ・ 何週間か限定の文豪フェアとかあったら行って本を読みたくなるかもしれない
- ・ 本を読んで自分のイメージを絵にしてみる
- ・ 公立図書館は、来館者数や貸出数ばかりにこだわらず、有意な資料をきちんと置いておくことが大切
- ・ その人に合う媒体であれば紙の書籍でも電子書籍でも良い
- ・ 歩くのが大変なので、自宅から図書館の本にアクセス出来たら読みたくなるかも

➡ 班のまとめ「○図書館や本屋が近所に無い人向けに移動図書館など物理的取り組み

○読書が苦手な人・普段読まない人向けにきっかけ作り

（例：本の紹介・読書の良さ伝える・読書習慣の周知など）」

5班 班名：アーミーズ（高校生会、40代、70代の班）

- ・ 本の体験談・効果をイラストを交えて紹介する
- ・ 子どもが生まれた家族には本の無償配布をする（身近に感じられる）
- ・ 読みたくなるようなポップアップを棚に置く
- ・ まず10ページだけ読んでみる
- ・ 栞作り体験を実施する
- ・ 面白そうなページを開いた状態で棚に置く

- ・ POP を置く
- ・ 書店等の本の並べ方・テクニックを参考にする
- ・ ベストセラーランキングを掲示する（①貸出本②売れている本③本屋大賞）
- ・ 読書記録帳を活用し、本を沢山読んだ人に賞状をあげる
- ・ 読書記録帳

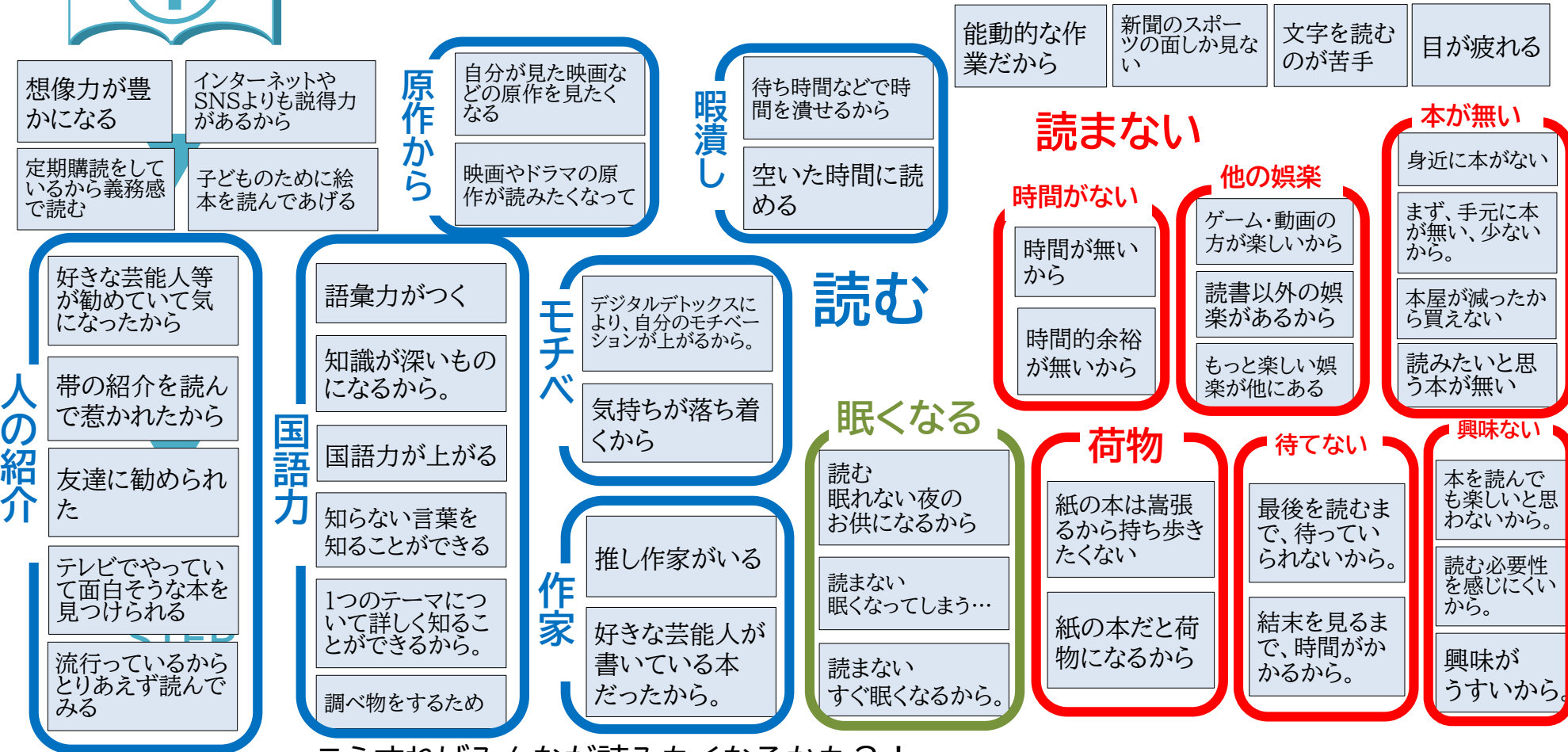
- ➡ 班のまとめ「○広報 体験談や効果をイラストを交えて紹介する
- 図書館のディスプレイの工夫
 - 子どもへの本の無償配布
 - 町内の小・中学校の先生方や司書へ読書の促し方を紹介する
→学校で取り組んでもらう」

STEP



現状を共有しよう

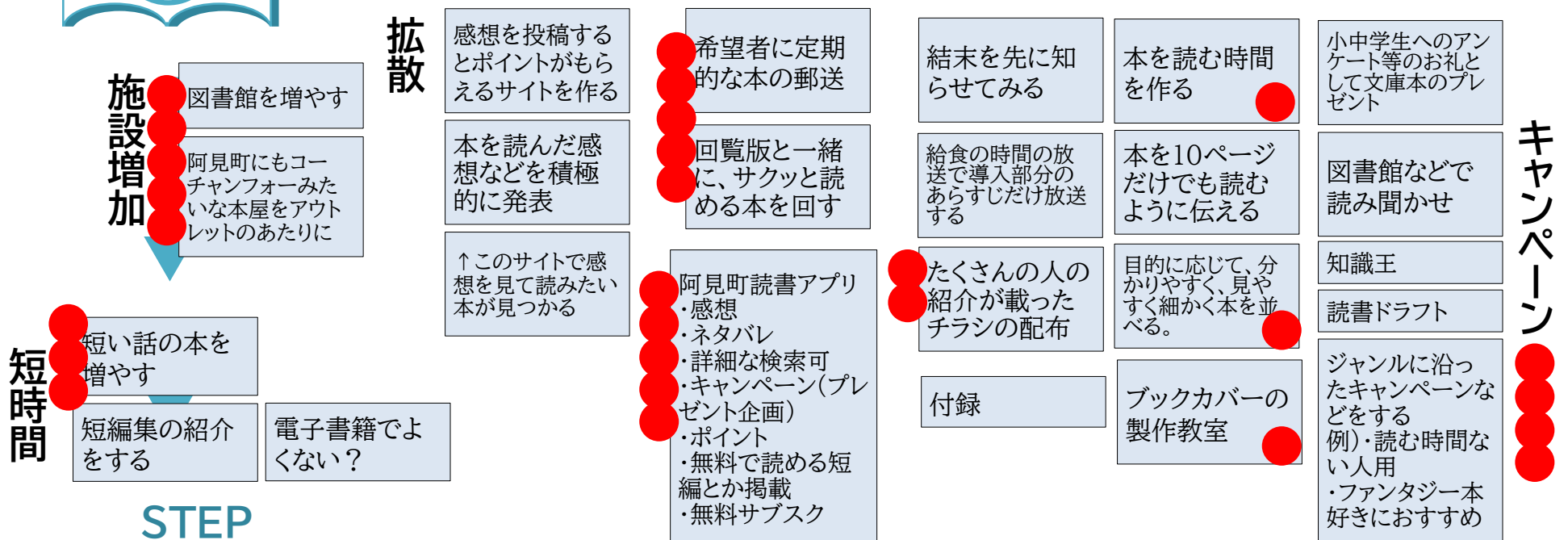
なぜ本を読むの？読まないの？



こうすればみんなが読みたくなるかも？！



本を読みたくなるためのアイデア



STEP



みんなが本を読みたくなるには？

班のまとめ

- 書店や図書館の増加
- 阿見町の図書館アプリを作る

なぜ本を読むの？読まないの？

現状を共有しよう

話の共通項になる

本屋を見るのが楽しい

偶然から生まれるもの、ことが多いから
・偶然本を開いたら、ちょうど自分が悩んでいたことなどにリンクする内容だったから
・表紙、題名、一行にとてつもなく惹かれることがある。

ビジュ
いいじゃん

「本を読んでいる」ことにかっこいいイメージがあるから

本を読んでいる雰囲気に浸りたくて

“本を読んだ”感が欲しい

想像力

読書＝旅
・どこにいても本の世界に入れこめる場所はない関係なくなる
・過去にも未来にも行くことができる→歴史小説やSFはそういう要素あり
・昔の人の言葉を聞ける→時を越えて昔の人と対話できる。昔の人と出会う感覚

想像力を膨らませるトレーニング

日常がおもしろくなる。
・小説の世界と現実を重ねて過ごしてみると、ほんの中の登場人物の一員になっている感じがして楽しい。
・ほんの登場人物が現実にはいた場合、こんなことを言うかなと想像してみると平凡な日々ではなくなる。

きっかけがある

受賞作が気になって

昔、好きだった本を思い出して

SNSで面白い本の情報を知ったとき

小さい頃に好きだった本を思い出したり、偶然見つけたから

映画に関係して読みたくて

小さい頃から読んでいたから

「好きな作家」や「好きなテーマ」がある→読むきっかけがあるから

昔、本が好きだったから

SNS・YouTube
を見ることに飽きた時

スマホより目が疲れない
暇潰し

デジタル
デトックス

本以外の楽しい

本以外の娯楽があるから

他にやること
があるから

本以外に楽しい
ものや趣味があるから

こうすればみんなが読みたくなるかも？！

本を読みたくなるためのアイデア

図書館

賞を取った本を並べる

青空図書館

図書館に少しうるさくしても良い日をつくる。
(子どもが騒ぐことを心配して訪れられない人もいいると思うから)

移動図書館 トラックとか
(近くの公園などを回って子どもたちに本に接してもらう)

中高生向けに勉強になる本を展示

運営面

重い本の隣に同じ本の文庫本を並べる

“読み捨て”システム

履歴からおすすめの本を探してくれるシステム

駅前回収ボックス
カスミ

土浦駅→中央公民館のバスに本棚をつくる
バス停本棚→回収可能

イベント

古本市を開催する
いらない本を持ち寄る

本の修理を大人に教えるイベントをやる

短い話のフェアを図書館や書店で行う

物忘れ対策として(大人向け)

友達や家族に悩み事を相談されたときに本を渡す(解決の糸口)本カウンセラー制度をつくる

運動会(スポーツフェスタ)の景品を図書カードにする→文武両道に繋がるのでは？

誕生日に図書館からおすすめの本が届く！
※事前に登録した人に図書カードとおすすめの本を送る(アンケートに答えてもらうなどもありかも？)

きっかけ

感想掲示板

POPをつくる。
Ex)〇〇ときに読みたくなる

待ち時間が発生する場所(役場の受付前や病院)に本を置く。外来の待ち時間を短縮する

他の人の感想を見られるしくみ

おすすめの本をSNSで紹介(ショート動画など)

電車の車内広告にショートショートや短歌を書く

物理的な制限

重いかさばる

近くに本屋や図書館が無いから

気持的に

自分にとって面白い本ではないと思込んでいるから

集中力、気力が必要...

時間が無い

読書＝時間がかかる
・すぐ結論が出ない→すぐ結果が欲しい思考の現れ??
・自分で読むのが億劫→動画などは、勝手に流れてくれる

本を読む時間がないから＝本は長い

映像の方が短い時間でストーリーを知れるから

本を読む時間がないから

活字離れ

活字離れ
・長文を見るだけで読む気が失せる→長文に慣れていないから
Because.スマホの情報は、短文のものが多いから

活字をよむことが疲れる

たくさんの文字が並んでいることに抵抗を感じているから

長い文章を読むトレーニングとして

読解力がつくから
・読解力＝物事を読み解く力→表面的なことだけに囚われず、物事の本質について考えることは、様々な問題を解決する力に結び付くと思う。

静かにしなければならない場合や、ちょっとした空き時間で行えるから

視野が広がるから
「こんな考え方もあるのか」「こんな人もいるのか」など、自分以外の人つまり、他者のことを知ることと似ている
→多角的思考が養われる

活字に触れなくなっている

新しい知識を得るため

STEP

3

みんなが本を読みたくなるには？

班のまとめ

- 本を読みたいと思えるきっかけ作り・・・感想掲示板の作成
- 図書館・・・図書館で騒いでもOKな日を作ってみる、青空図書館など
- 運営面・・・回収BOXの設置(バス停、カスミ、駅前など)、古本市

本を身近に感じられるような町にしよう！！

(3)もっと本読み隊 班

～we love 読書～

STEP

1

現状を共有しよう

なぜ本を読むの？読まないの？

優先順位が低い

メリットない

本を読むメリットがわからないから
読書が好き＝ポジティブなイメージとは限らない(ガリ勉)

何を読めばいいのか？！

アフターズロリ問題 次の本にすすめない

読む本の選び方が分からない

どの本を読めばいいのかわからない

何を読んだらいいのかわからない(選択できない)

動画を見たりマンガを見たりする方が楽しい

他にやることがある(そちらの方が楽しい)

SNSを見る方が楽しいと感じる

YouTube見せておいた方が楽ちゃん(親)

YouTube見た方が楽ちゃん(子)

親の負担増

読み聞かせは親にとって負担である→本離れ

子連れ図書館ハードルが高い

本が高い！
買っても読んでくれないかも…(子)

図書室(学校)の制限が多いので離れてしまう

本を読む環境が無い

近くに図書館が無いから

読みたい時に手元に無かったり、借りに行くのがめんどくさく感じてしまうから。

家で誰も読んでいない(本が無い)

環境有

家で本を読む環境があるから自然と(親が読んでいる本が置いてある)

手軽に読める本があるから

ストーリーが面白いから

時間が無い

本を選んだり買う時間が無い

本を読もうとするとまとまった時間が欲しくなるけど忙しくて時間がとれない。

本を読もうとするとまとまった時間が欲しくなるけど忙しくて時間がとれない。

本を読む時間が無い

本への抵抗感

スマホなどで見れてしまうから

読んでる途中で飽きてしまう

読むのが重い(文学に興味が無い)

活字を読むのに抵抗感があるから

本が好き

ドラマ・映画の原作を読みたい

マンガ・アニメに興味があるから

スマホで本を読むのとは違う楽しさが感じられるから

読書が趣味だから

好きなジャンルや作者さんが見つかったら夢中になってハマるから

リラックス

現実逃避できる

気持ちが落ち着くから。

スマホから離れたい時があるから。

追体験

作者を通して様々な追体験ができる

思考力

考える力を養う
考えが深まり人間として豊かになれる

語彙力UP

語彙力や表現力UP！

たくさんの言葉表現に出会える

語彙が増え自分の気持ちを言語化できるようになる

知識増

自分の興味あること、関心のあることを深掘りできる

知識を得るため

知識を増やす

新しい知識を得る

知りたいことがあるから読む

進路を考えるのに役立つ

自分の視野を広げるため

必然

学校の課題を終わらせるため

人間関係広がる

読書を通して人間関係が広がる(感想共有)

こうすればみんなが読みたくなるかも？！

本を読みたくなるためのアイデア

ビブリオバトルをする！

本の感想を言い合う会

学校などで学年を混ぜたビブリオバトルを開催する

本の選び方を図書館などに貼る。

本の選び方の指導

ぬいぐるみお泊り会

本の処方箋

ドラマやマンガの小説バージョンをつくる

各世代・年代ごとにオススメの本を決める

好きな小説の一節発表会

葉やブックカバーなど本に関するグッズ作りをする

動画で宣伝

本の紹介カード(名刺サイズ?)を配る

本交換会をひらく

ジャンルや年齢別の読書会を開催して読後感を共有する

読み聞かせ→自分で読むための橋渡しをする(図書館イベントなど)

図書館で子どもを預けることができればいいな

謎解き本を読んだら謎が解ける！

移動図書館を実施する

読書タイムを設ける

読書の時間を決める

親向けの読み聞かせ講座やる

読み聞かせアプリを使う

移動式図書館

学校で図書館の本を借りれるようにする

学校で本を読まないといけない宿題を出す

読書しないとやらない決まりをつくる

ドラマや映画に合わせた同一作者の紹介企画

本を読んだ数を競うゲーム

読書してる人はステキという洗脳をする

ポイントカードを作る→交換

図書館に映えスペースをつくって写真を撮れるようにする

小学生新聞の推奨(補助金?)

活字に親子で親しむ

STEP

3

みんなが本を読みたくなるには？

班のまとめ

- 「何を読めばいいのかわからない」に対して解決策を提示する。
(例: 司書さんからおすすめ、本の処方箋、ビブリオバトル等)
- 本を読む環境づくりを整える。
(親向け読み聞かせ講座、移動図書館など)

STEP



現状を共有しよう

なぜ本を読むの？読まないの？

知識を多くするため
知識が増える
知らない世界に旅できるから
社会に役立つ自分になるため
自分とは違う生活・世界を知れる

知識

そもそも本が好き
想像の世界がおもしろい
没入感や読了したときの達成感・爽快感
面白いから好きだから
人とかかわるのが不安だったので
活字を読むのが好きだから
本でしか体験できない没入感があるから

楽しみ

「本」の定義
教養が手に入るもの

「本を読む」のは、「目的」ではなく「手段」なので、「目的」は何なのか？

読む

読まない

文字を読むのが面倒 時間が無い
時間が無いから
時間の無駄に感じる時がある

時間問題

面倒だから

他にも楽しいことや面白いことが沢山あるからわざわざ本を読みたいと思わない

ゲームや携帯の方が面白い

人気の作品は映像化されているから

本よりも映像やゲームなど動きがあり視覚・聴覚などで楽しむコンテンツの方が面白いから

読むきっかけが無い

自分と合う本が分からない

読書環境

本<他メディア

(小説の場合)
文字しかない
&その厚さ分あると考えるとやる気が失せる

色んな人が触っているのが気持ち悪い

物理・心理的問題

本は情報が古いときもある

ネットで得る情報と違うものが得られるのか？

情報

こうすればみんなが読みたくなるかも？！

STEP



本を読みたくなるためのアイデア

SNSでおすすめの本を紹介する(手に取るハードルを下げる)

読書の楽しみ方ガイドを作る

映像化された本をフューチャーする

読書初心者におすすめの本を集めたコーナーを作る

本を読むメリットを楽しく・面白く紹介する(子どもだったら子供が懂れる人が言うとか)

気に入る本とマッチングする
チャート表を作る

学校みたいに10分間のチャレンジ

子どもへの読書のきっかけ作り⇒家庭で・社会で・学校でetc

何週間か限定で文豪フェアとかあったら行って本を読みたくなるかもしれない

本を読んで自分のイメージを絵にしてみる

ハードルの低いものからチャレンジ

「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができる」ような資料について要望すると良い

町民の役割

子どもとかは、10冊読んだらごほうびとか？

継続するために

公立図書館は、来館者数や貸出数ばかりにこだわらず、有意な資料をきちんと置いておくことが大切！

紙の書籍でも電子書籍でも良い。その人に合う媒体で

自宅から図書館の本にアクセス出来たら読みたくなるかも歩くのが大変なので。

移動図書館が、あるといいな...

アクセス

読書の
きっかけ
作り

STEP



みんなが本を読みたくなるには？

班のまとめ

○図書館や本屋が近所に無い人向けに移動図書館など
物理的取り組み

○読書が苦手な人・普段読まない人向けにきっかけ作り
(例: 本の紹介・読書の良さ伝える・読書習慣の周知など)

図書館、町が広報やネットで宣伝

STEP



現状を共有しよう

なぜ本を読むの？読まないの？

表現する言葉を知るため

語彙力や表現力を高められるから

使用語彙と表現力

本は偉人たちの知恵や経験を手軽に知る事ができるツール

ポリシーが磨かれるから(自分の哲学ができる)

知識の向上

作者の世界観や、ジャンルに対する考え方などを知れて、自分の世界が広がるから。

自分の知らなかった世界に出会える

世界観の広がり

時間を忘れて没頭できるから。

ストレスが軽減されるから

癒しの時間

正しい情報信頼できる

忙しくて、本を読んでいる時間が無いから。

読む時間が無い

時間が無い
・仕事、家事
・部活、勉強

難しい言葉が多すぎると分りにくいから

読書の苦手意識

いっぱい活字を読むのが苦手だから

文を読むのが苦手

文字を読むことが苦手 ディスレクシア

読んでいたとしてもすぐ他のことに気を取られる。(集中力が続かない?)

読書することを重く考えすぎ(1冊で何かを得ようと思わなくて良い)

知識人の趣味だという先入観

読書=崇高

苦手

・ディスレクシア障害
・楽な趣味 スマホ、ゲーム、マンガ

こうすればみんなが読みたくなるかも？！

本を読みたくなるためのアイデア



葉作り体験

借りたい本がすぐ見つかる様工夫してほしい

本の体験談・効果をイラストを交えて紹介する

チャット形式で質問に答えたら自分にあう本が分かる！！みたいなポスター、チラシとかを図書館で配布

読みたくなるようなポップアップを棚に置く

面白そうなページを開いた状態で棚に置く

まず10ページだけ読んでみる

POPを置く

書店等の本の並べ方・テクニックを参考ににする

ベストセラーランキングを掲示する
①貸出本
②売れている本
③本屋大賞短編集やエッセイをおすすめしてみる。(1話が短くて読みやすいかも)
↓
本の面白さを知ってくれるかも？

本をいっぱい読んだ人に賞状をあげる(読書記録帳を活用する)

葉コンテストの実施
→葉の紙を配って描いてもらい、それをかざってお客さんに投票してもらい、1位の葉を配る。子どもが生まれた家族→本の無償配布
身近に感じられる

音声で本を読む

借りる=音声でダウンロード
→ 視覚情報タブレットでデータ化された書籍を借りる
→ 拡大できる

読書記録帳

現実的ではない...

STEP



みんなが本を読みたくなるには？

班のまとめ

- 広報 体験談や効果をイラストを交えて紹介する
- 図書館のディスプレイの工夫
- 子どもへの本の無償配布
- 町内の小・中学校の先生方や司書へ読書の促し方を紹介する→学校で取り組んでもらう

令和7年度第1回町民討議会(令和7年7月26日)

